



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 191
February
2009

トピックス

元客員研究員からのお便り

ザファール・タジ元客員研究員（パキスタン）

お知らせ

『民間企業による防災優良事例集2008』の発行

『「各種災害リスク低減のための国際シンポジウム」のご案内

『ADRCホームページのアドレス変更

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 ひと未来館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
http://www.adrc.asia

© ADRC 2009

●元客員研究員からのお便り ザファール・タジ元研究員（パキスタン）

私はザファール・タジと申します。2008年2月から6月まで、客員研究員としてアジア防災センター（ADRC）で勤務しました。現在は、パキスタンの連邦直轄北部地域にあるギルギットの副長官として働いています。

パキスタン北部は、世界最高峰の3つの山脈（カラコルム山脈、ヒマラヤ山脈、ヒンドゥークシ山脈）が連なり、大変荒涼な地域です。その特有な地形のために、この地域はごく最近まで

貧困に苦しみ、国内の他の地域から大きく切り離された状態でした。

副長官という私の役職は、県で指揮系統の二番目のポストにあり、全ての公的および私的機関との調整や、法整備、そしてこの地域の全般的な管理調整を行う任務を担っています。警察、保健衛生、教育、建設、開発などに関わる全ての政府機関は、県の管理当局と密接な連携をとっています。

2005年10月に起こった地震災害を契機に、防災局は国中に設立されました。北部地域防災局（NADMA）は州レベルでの防災の中心的な機関であり、その下の県の防災局には、実務を行う職員が働いています。

また、県の副長官は、緊急事態への備え・対応を行う責務を負っています。私はこの土地の出身者として、北部を発展、進歩させることは職務というだけでなく、大変光栄なことであると思っています。

州都ギルギットを含む北部地域は、様々な災害が起こりやすい地域で、カテゴリー別に見てみると、下記の3つのタイプに分けられます。

- 頻繁に発生する災害：洪水、鉄砲水、地すべり、雪崩、土石流、泥流、落石
- 断続的に発生する災害：干ばつ、地震、氷河湖決壊洪水、伝染病・疫病
- 人災：紛争、ゴミ処理問題、事故、公害

私は、2008年にNADMAから推薦され、防災研修の一環として半年間ADRCの客員研究員として神戸に滞在しました。その間、多くの防災関連施設を訪問し、防災に関する研究や災害リスク分析・軽減といったメカ



続き

ニズムについて学べたことはとてもよい経験となりました。また、防災に関するセミナーやワークショップ、講義などに参加できる機会がもてたことや、京都大学、山口大学、富士常葉大学での講義に参加できたことは、ADRCに感謝しなければなりません。神戸や東京、京都での研修では、幅広い分野に関する講義や説明を受けることができ、日本の緊急対応システムについて分かりやすく理解することが出来ました。

NADMAは、UNDPの専門家と協力し、州の防災計画を立案しました。下部に置かれた県の防災局は、それぞれの防災計画および行動計画を策定することが求められています。組織的なリスク削減・軽減と緊急対応システムを確立するために、県の関連部局が行動計画の策定に携わっており、様々な状況下での各部局の役割が明記されています。

ADRC客員研究員としての経験から、リスク削減の重要性を人々に理解させることの重要性について、更に理解が深まりました。帰国後、防災や、水・衛生、氷河湖決壊洪水に関する3セミナーを県レベルで開催したり、防災計画の策定に関する数々の会議やワークショップなどを実施したりしました。今後、半年以内に県の防災計画を完成させたいと思っています。

●お知らせ

『民間企業による防災優良事例集2008』の発行

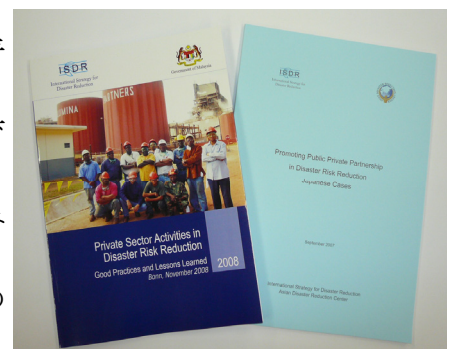
2009年1月13日、ADRCは、国連国際防災戦略 (ISDR) 事務局兵庫事務所との共催で、『民間企業による防災優良事例集2008』に関する記者発表を行いました。

ADRCでは、これまで公と民のパートナーシップによる減災の取り組みを支援してきました。この活動の一環として、2007年6月には『防災分野における公民連携の推進：日本の事例紹介』をISDR事務局と共同で発行しています。

サルバノ・ブリセーニョ ISDR事務局長、鈴木弘二ADRC所長のほか、公と民のパートナーシップによる減災の取組の優良事例として選定された以下の日本企業4社が、記者会見においてそれぞれの活動を報告しました。



- ガラスパワーキャンペーン: 避難場所への防災ガラスの普及・寄贈活動 (旭硝子株式会社)
- 「人形劇プロジェクト稲むらの火」を活用した防災教育 (株式会社損害保険ジャパン)
- 地域社会と連携した都市ガス安全使用のための取り組み (東京ガス株式会社)
- 大型地図を用いた「わが街減災Mapシミュレーション」の取り組み (日本生活協同組合連合会)



これら日本企業の活動は、日本が防災分野で世界に共有すべき優れた知見を蓄積していることを示しています。『民間企業による防災優良事例集2008』を通じて、災害リスク軽減に向けた公と民のパートナーシップを推進することにより、自然災害に対するリスクと脆弱性を軽減し、持続可能な社会的・経済的発展に貢献することが期待されます。

なお、『民間企業による防災優良事例集2008』は http://www.preventionweb.net/files/7519_PPPgoodpractices.pdf からご覧いただけます。

「各種災害リスク低減のための国際シンポジウム」のご案内

このたび、ADRCでは、国際風工学会、国連大学、ISDR事務局、および東京工芸大学と共同で、「各種災害リスク低減のためのシンポジウム ～防災分野における国際的共同アクションに向けて～」を、3月4日～6日に国連大学（東京）において開催することになりました。

本シンポジウムは、様々な自然現象、気象現象によって引き起こされる人類社会への災害リスクを低減するための統括的な活動や、組織作りのための議論の場を提供し、災害リスク低減に貢献することを目的としています。3月4日と5日は招待講演セッションで、各国、各組織で種々の立場から災害リスク低減のための活動を行っている著名な研究者や組織の代表者を招聘し、基調講演、招待講演、およびパネルディスカッションを行います。3月6日は一般講演セッションで、各分野の研究者等から投稿された研究や事例を講演いただき、議論がなされます。詳細は下記をご覧ください。

- 日時：2009年3月4日（水）～3月6日（金）
- 場所：国連大学本部ビル3階 ウ・タント国際会議場（3月4日、5日）
国連大学本部ビル5階 エリザベス・ローズ会議場（3月6日）
地図：<http://www.unu.edu/access/>（東京都渋谷区神宮前5-53-70、
東京メトロ銀座線、半蔵門線または千代田線表参道駅B2出口から徒歩5分、
渋谷駅から徒歩8分）
- * 国連大学本部ビル内には駐車場はありませんので、近隣のパーキングをご使用ください。
- 参加費：一般 5,000円、学生は無料（事前登録必要）、レセプションディナーは別料金
- 定員：4日および5日は300名、6日は100名（定員になり次第募集を締め切ります）
- 言語：4日および5日は英語・日本語（同時通訳付き）、6日は英語のみ
- 申込：シンポジウムHPから2月25日（水）までに事前登録。メールによる登録も可
（シンポジウム事務局宛て、名前（フリガナ）、所属、住所、電話、ファックス番号、メール アドレスを送付）
- 問合せ・申込先：シンポジウム事務局 東京工芸大学グローバルCOE支援室
〒243-0297神奈川県厚木市飯山1583
Email: gcooffice@arch.t-kougei.ac.jp, cao@arch.t-kougei.ac.jp
Tel/Fax: 046-242-9658
HP: <http://www.wind.arch.t-kougei.ac.jp/ISWE4/index.html>

ADRCホームページのアドレス変更

ADRCのウェブサイトが<http://www.adrc.asia/>に変更になりました。

問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。